

資料3

府中市 まち・ひと・しごと創生総合戦略素案

平成 27 年 10 月 6 日

府中市

目 次

1. はじめに	1
(1) 策定の背景と目的.....	1
(2) 対象期間.....	1
(3) 国の方針の反映について	2
(4) 第6次府中市総合計画との関係について	2
(5) 進行管理について.....	3
(6) 計画の見直しについて	3
2. 総合戦略	4
2.1 基本方針.....	4
2.2 基本目標別戦略	6
基本目標1：基盤産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保	6
基本目標2：定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成	9
基本目標3：若い世代の出産・子育てへの希望の実現	12
基本目標4：地域とつながる安心な暮らしの確保.....	14

1. はじめに

(1) 策定の背景と目的

我が国の総人口は、今後加速度的に減少すると想定されています。国立社会保障・人口問題研究所の推計（平成 24 年 1 月）によると、総人口は平成 7 2 年（2060 年）に 8,674 万人にまで減少すると予測されています。このような人口減少は消費・経済力の低下を招き、日本の経済社会に悪影響を与えると考えられます。

このような背景を受け、国は「平成 7 2 年（2060 年）に 1 億人程度の人口を確保する」ことを長期ビジョンとして掲げ、全国の地方公共団体に対して、人口の現状を分析し、人口に関する課題の抽出と将来展望を示す「人口ビジョン」と、人口ビジョンを踏まえ、まち・ひと・しごとの創生に関しての今後の目標や施策の方向を示した「総合戦略」を策定することを要請しています。

この要請に対応し、「府中市人口ビジョン」を踏まえ、本市におけるまち・ひと・しごとの創生に関しての今後の目標や施策の方向を示すため、「府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「府中市総合戦略」といいます。）を策定します。

(2) 対象期間

国の総合戦略の対象期間である平成 3 1 年度（2019 年度）までに合わせ、計画期間は平成 2 7 年度（2015 年度）から平成 3 1 年度（2019 年度）の 5 年間とします。

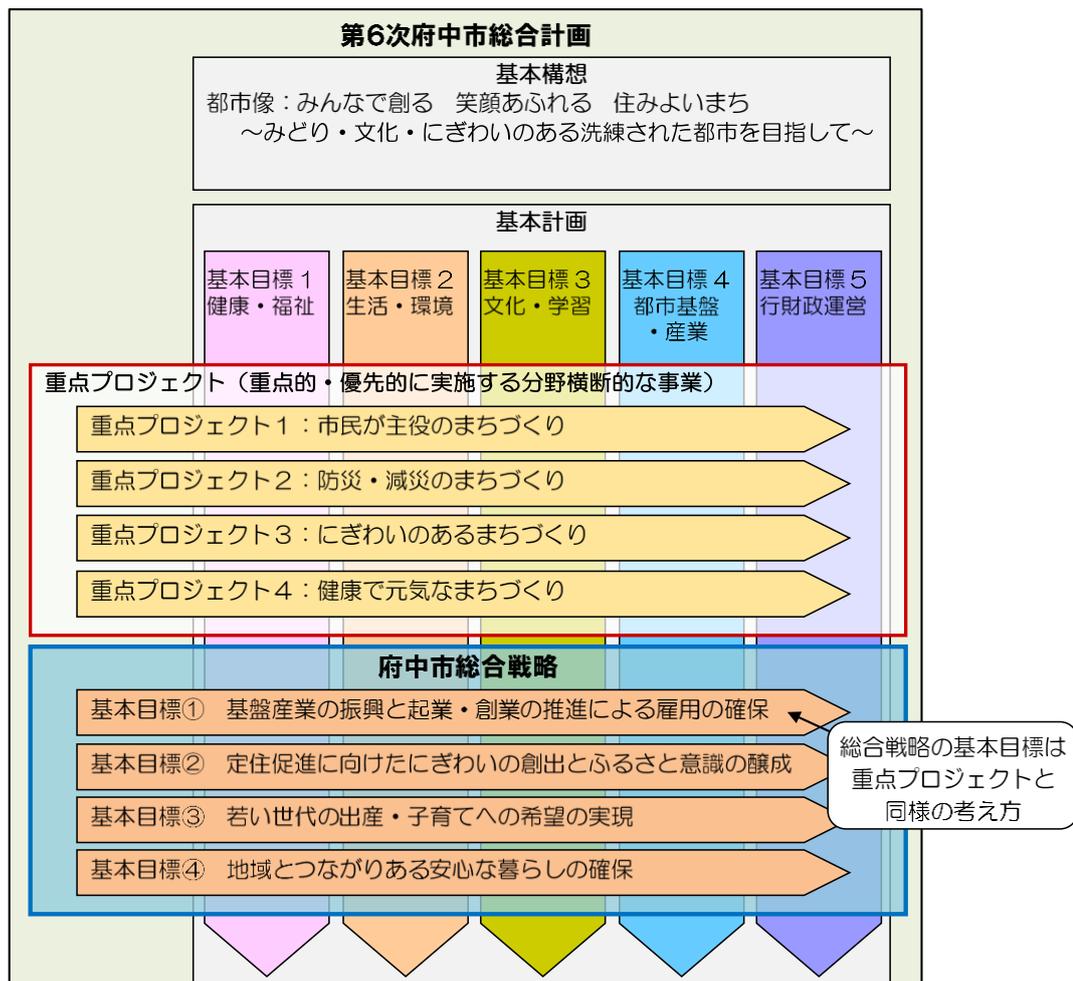
(3) 国の方針の反映について

府中市総合戦略の策定に当たっては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の方針を勘案し、府中市人口ビジョンで示した目指すべき将来の方向性を実現するための戦略を策定します。

(4) 第6次府中市総合計画との関係について

府中市総合戦略は、「第6次府中市総合計画」の基本構想で示した都市像を実現するための重点的な戦略であり、総合計画の重点プロジェクトと同様の考え方で一体的に展開を図ります。

<第6次府中市総合計画と総合戦略の関係イメージ>



(5) 進行管理について

府中市総合戦略の推進に当たっては、計画期間内において確実な成果を達成するため、取組状況を踏まえ柔軟に戦略や事業を見直しながら推進していきます。

そこで、戦略の進捗状況を「見える化」し、PDCA サイクルに基づくマネジメントを実践できるよう、毎年度実績報告を公表します。また、府中市人口ビジョン及び府中市総合戦略を策定するために設置した「府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」において進捗状況を評価及び意見を求めることとします。

(6) 計画の見直しについて

府中総合戦略は、重要業績評価指標（KPI）を設定し、PDCA サイクルによる効果検証・改善を図ります。また、計画期間中でも効果検証結果のほか、社会状況や国及び東京都の動向などを踏まえ、必要に応じて府中市総合戦略を見直すこととします。

2. 総合戦略

2.1 基本方針

府中市総合戦略は、国の総合戦略で示されている4つの基本目標を受け、府中市人口ビジョンで整理した本市の課題や将来展望を踏まえ、次の基本目標を定めました。

基本目標1：地方における安定した雇用を創出する

●現状・課題

- ・東京圏への人口移動は、経済・雇用情勢の格差が影響しており、地方における雇用創出が東京一極集中是正につながる

●基本目標

- ・地方において若者向けの雇用をつくる。2020年までの5年間で30万人分

基本目標2：地方への新しいひとの流れをつくる

●現状・課題

- ・人口流入によって東京圏に人口が集中
- ・国際的に見ても首都圏への人口集中の割合が高く、さらに上昇傾向にある

●基本目標

- ・現状で年間10万人超の東京圏への人口流入に歯止めをかけ、東京圏と地方の人口の転出入を均衡させる

基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

●現状・課題

- ・出生数は大きく減少
- ・就労形態（非正規雇用等）は配偶者の有無の割合に大きく影響

●基本目標

- ・若い世代が、安心して結婚・妊娠・子育てできるようにする

基本目標4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、

地域と地域を連携する

●現状・課題

- ・大都市における高齢化・単身化による医療・介護ニーズの拡大への対応
- ・老朽インフラ、空き家対応などストック対策
- ・コミュニティ、ふるさとづくりへの対応

●基本目標

- ・「小さな拠点」の整備や「地域連携」の推進

府中市人口ビジョン

[目指すべき将来の方向性]

① 今後想定される社会移動縮小の影響を抑制する

就職や結婚を契機とする若い世代の転入が多いという現在の強みを維持することにより、今後想定される社会移動縮小の影響を抑制し、急激な人口減少等の問題を回避する。

② 家庭を持ち、子どもを産み育てるうえでの障壁を軽減する

家庭を持ち、子どもを産み育てたいという市民の希望をかなえるうえでの障壁となる状況を、市内の企業やコミュニティなどあらゆる主体の力を集めて軽減し出生数を増やすことで、安定的な自然増による人口構造のバランス改善を図る。

③ 人口構造の変化が社会経済に及ぼす影響に的確に対応する

急激な人口構造の変化が、市民の働き方や暮らし方に及ぼす影響に的確に対応することにより、市民の活力にあふれる生活をサポートする。

府中市総合戦略

基本目標 1 : 基盤産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保

【方向性】

- ・現状の基盤産業の安定を図る
- ・起業・創業を推進する

基本目標 2 : 定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成

【方向性】

- ・府中の魅力を活かし、府中市を訪れたい、住みたいと思う人を増やす
- ・ふるさと意識を醸成し、ずっと住み続けたいと思う市民を増やす

基本目標 3 : 若い世代の出産・子育てへの希望の実現

【方向性】

- ・若い世代が安心して子どもを産み、子育てができる環境を整え、出生率の向上をめざす

基本目標 4 : 地域とつながる安心な暮らしの確保

【方向性】

- ・市民一人ひとりが地域社会と関わりながら安心して暮らせる環境をめざす
- ・公共施設・インフラの計画的な保全や空き家の有効活用など、地域のつながりをもったコミュニティを活性化するための取組をソフト・ハード両面で推進する

2.2 基本目標別戦略

基本目標 1：基盤産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保

■現状と課題

- ・本市は、東京都内でも有数の産業都市としての側面を有しています。就業者数に着目すると、製造業、情報通信業、卸売・小売業、建設業、医療・福祉などに従事する方が多くなっています。【人口分析結果より】
- ・市内に全国有数の企業が数多く立地していることは本市の強みでもありますが、一つの企業の業績や工場撤退等の動向に大きく影響を受けるリスクも有しています。【人口分析結果より】
- ・産業都市としての本市の強みを生かし、安定した雇用を確保し続けるとともに、地域経済を支える強い産業構造を構築していくことが課題です。また、若い世代が安心して家庭を持ち、子育てができるよう、正規雇用や短時間就労などさまざまな就労ニーズに応える魅力ある就労環境をつくることも課題です。

■目標

地域経済と雇用を支える基盤産業の事業継続を支援するとともに、起業・創業の推進や企業誘致により、多様性のある産業構造をめざします。また、子育てや介護などを行いながら働けるなど、さまざまな就労ニーズに応える魅力的な就労環境をつくり、雇用と労働力の確保の両立をめざします。

数値目標	現状値	目標値 (H31)	備考
市内従業者数	48,005 人 (H22 国勢調査)	49,000 人	—

■講ずべき施策に関する基本方向

(1) 基盤産業の経営安定化による雇用機会の維持（経営基盤の強化）

①市内企業の経営支援

②多様な人材の就労支援

(2) 起業・創業の推進による産業構造の多様化

①起業・創業の支援

■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

（１）基盤産業の経営安定化による雇用機会の維持（経営基盤の強化）

①市内企業の経営支援			
<ul style="list-style-type: none"> ・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援等の中小企業の経営支援を行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。 ・商店街のより一層の活性化に向けた取組を支援します。 ・産・学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の振興を支援します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
融資実行件数	292件	300件	
商店街イベント事業補助金交付 商店会数	28件	32件	
技術相談を行った件数	463件	〇〇〇件	
主な取組		総合計画の位置づけ	
中小企業事業資金融資利子補助や中小企業退職金共済掛金補助を行う。		施策7-1 中小企業の経営基盤強化の支援	
商店街のイベント事業や活性化事業等について補助を行う。		施策7-2 地域商業の振興	
工業技術情報センターにおける技術相談、新製品・新技術開発事業や特許取得事業の補助を行うとともに、ものづくり産業の活性化を支援するため、産・学・金・官の連携等を図る。		施策7-3 工業の育成	

②多様な人材の就労支援			
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の市内における就業機会を拡大し、地域に活力を生み出します。 ・働く意欲のある高齢者が就労相談や就業機会の提供を受け、積極的に地域で活躍することを支援します。 ・講座を開催するなど、出産や介護等の理由により離職した女性の再就職を支援します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
いきいきワーク府中の就職率	32.1%	36.8%	
女性向け再就職支援講座の参加 人数	〇〇人	〇〇人	
主な取組		総合計画の位置づけ	
ハローワーク府中等と連携し、若い世代の就業を支援する。		—	
勤労者福祉振興公社が実施する無料職業紹介事業を補助し、ハローワーク府中や東京しごとセンターなどと連携を図る。		施策1-2 高齢者の就労支援	
出産等の理由により離職した女性の再就職を支援するための講座を開催する。		施策4-1 男女共同参画の推進	

(2) 起業・創業の推進による産業構造の多様化

① 起業・創業の支援			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、相談体制を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。 ・ 東京農工大学をはじめとする教育機関や市内団体等と連携し、コミュニティビジネスの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用といった、起業・創業に関する多様な支援を目指します。 			
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (H31)	備考
セミナー参加人数	〇〇人	〇〇人	
ガイダンス・個別相談の参加人数	〇〇人	〇〇人	
主な取組		総合計画の位置づけ	
むさし府中商工会議所及び金融機関と連携した事業により、創業希望者をサポートする。		施策71 中小企業の経営基盤強化の支援	
コミュニティビジネスの起業に関する基礎知識、創業・運営方法などについて全般的な説明を行うガイダンスと個別相談を実施する。		施策59 民間活力による地域貢献活動の促進	

基本目標 2：定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成

■現状と課題

- 本市は、ケヤキ並木や公園などの豊かな緑、多摩川や湧水などの潤いある水辺環境、武蔵国府跡や大國魂神社のくらやみ祭等の歴史・文化など、誇りのもてるさまざまな財産があります。また、鉄道や道路ネットワークが充実しており、通勤・通学の利便性が高く、府中駅周辺には商業施設が集積するなど、とても暮らしやすいまちです。
- 全国で人口減少が進む中、本市においては現在も人口が増加し続けています。本市の人口増加は、全国からの転入超過で支えられていますが、近年は、社会増減数、自然増減数が共に減少傾向にあり、その要因は、23区への転出超過、出生数の減少及び死亡者数の増加が挙げられます。この傾向が続けば、想定より早く人口が減少する可能性があります。【人口分析結果より】
- 本市の中心は、ケヤキ並木を核とした府中駅周辺であるといえますが、近年歩行者交通量が減少してきています。このような中で、本市は、府中駅南口再開発事業や市役所の建替えなどにより、交流とにぎわいのある魅力的なまちづくりを進めています。【市独自調査より】
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックやラグビーW杯2019日本大会の開催については、スポーツタウン府中や歴史や文化のまちといった府中市の魅力を市内外へ発信するなど、市の発展に向けた様々な取組が求められます。
- 豊かな自然環境や歴史・文化などの府中市の財産を守り育て、活かしながら、いつまでも住み続けたいという府中市への愛着を一層育んでいくことが課題です。

■目標

豊かな自然環境や歴史・文化、盛んなスポーツ活動といった府中の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくりを進め、府中市を訪れたい、住みたいと思う人を増やします。さらに、府中市への愛着を深め、市民のふるさと意識を醸成し、ずっと住み続けたいと思う市民を増やします。

数値目標	現状値	目標値 (H31)	備考
市政世論調査「定住意向のある市民の割合」(※)	93.9% (H26 市政世論調査)	95.0%	—

※定住意向のある市民の割合：市政世論調査で「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」との回答者の合計割合

■講ずべき施策に関する基本方向

(1) 府中の魅力を活かしたにぎわいの創出

①市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進

②地域の連携によるにぎわいの創出

(2) 郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成

①歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実

■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

(1) 府中の魅力を活かしたにぎわいの創出

①市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進

- ・市民や市内の商業者及び企業・学校等と連携を図り、市の魅力を発信して来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続けたいと思う市民を増やします。
- ・府中市の魅力を再発見を行政だけでなく、市民・各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
観光に関するホームページへのアクセス件数	〇〇〇〇件	〇〇〇〇件	
市政情報を用意に入手できないと感じる市民の割合	18.9%	15.0%以下	
主な取組			総合計画の位置づけ
ケヤキ並木や東京競馬場といった既存の観光資源や、市内を舞台とした漫画を活用した新たな資源の掘り起こしなどを通じて府中市の魅力を磨き、PRによる集客を図る。			施策74 観光資源の活用・創出による地域活性化
情報が広く、早く伝わるように各種情報媒体を有効に活用し、市の魅力を市内外に発信する。			施策78 広報活動・情報公開の充実

②地域の連携によるにぎわいの創出			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地におけるエリアマネジメントを推進し、活性化を図ります。 ・ 東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーW杯日本大会の開催を機に、全国そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、東京外国語大学などとの連携により、訪問者の受入体制の整備を進めます。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
休日のケヤキ並木通りの歩行者交通量	50,891 人	〇〇〇〇〇人	
主な取組			総合計画の位置づけ
活性化に関する計画を策定し、府中駅を中心とするエリアの活発な経済活動を推進する。			—
東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーW杯日本大会に関連する様々なイベントを実施する。			—

（２）郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成

①歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛をもてるまちを目指します。 ・ スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
文化・歴史施設への来訪者数	〇〇〇〇人	〇〇〇〇人	
大学やトップチームと連携する事業数	2事業	3事業	
主な取組			総合計画の位置づけ
郷土愛を高めて、市民が愛着を持てるまちとなるように、郷土の森博物館、府中の森芸術劇場、美術館などの文化施設を運営し、活用する。			施策47 文化施設の有効活用 施策48 歴史文化遺産の保存と活用
市内の各種競技団体、スポーツクラブ、大学やトップチームとの連携と協働による事業を実施する。			施策50 スポーツ環境の整備

基本目標 3：若い世代の出産・子育てへの希望の実現

■現状と課題

- 本市の人口は、近年においても増加し続けていますが、将来を担う子どもの出生数は、横ばいから減少傾向にあります。【人口分析結果より】
- 市民アンケートでは、理想の子ども的人数は平均 2.2 人ですが、現実的に持てそうな人数は 1.6 人との回答が得られており、市民の希望をかなえ、理想の子どもを産み・育てられる環境づくりが求められています。また、理想と現実を持てそうな子どもの数に差がある方の 43.4%が「子育てや教育にお金がかかりすぎる」ことを子どもを増やす際の問題として挙げ、子育て支援についての改善すべき点として 25.0%が「保育所等の充実」、17.7%が「市の子育てに関わる経済的支援の充実」を挙げています。【アンケート結果より】
- 本市は、都内でも待機児童が多く、待機児童の解消は重要な課題となっています。また、安心して子どもを預けられる環境を作るためには、量的な充足だけではなく、保育の質の維持・向上も必要です。
- 民間の調査（※）では、「住宅購入の際に決め手となる条件」の上位 3 位に学校教育が挙げられているなど、学校教育は、その自治体に居住する際の重要な判断材料のひとつであると考えられます。このため、府中市ならではの魅力的な学校教育の提供が期待されます。

※ウィメンズパーク 住まいミル 『住まい購入のお金事情』調査 『ウィメンズパーク』会員のうち、2006 年 1 月以降に住宅購入の経験のある 25～49 歳の既婚女性 2038 名 <http://suumo.jp/journal/2013/05/07/43488/>

■目標

若い世代が安心して子どもを産み、子育てができるよう切れ目のない支援を行うとともに、未来を担う子どもたちが安心して教育を受けられる環境を確保し、若い世代の出産・子育ての希望をかなえ、出生率の向上をめざします。

数値目標	現状値	目標値 (H31)	備考
合計特殊出生率	1.35 (H23 人口動態統計)	1.45	施策 8 ※10 年後の H36 年には 1.6 を目指します

■講ずべき施策に関する基本方向

(1) 若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり

①安心して出産や子育てのできるサポート体制の充実

■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

(1) 若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり

①安心して出産や子育てのできるサポート体制の充実

- ・待機児童を解消し、働きながら子育てしやすい環境を確保するとともに、保育の質の維持・向上に努めます。また、地域で子育てをサポートする体制を充実し、安心して子どもを産める環境を整備します。
- ・子ども医療費助成など、出産や子育てに係る経済的な支援を行います。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合	41.1% (H23 市民意識調査)	50%以上	施策 6
ひろば事業参加者数	24,918 人	27,000 人	
特定教育・保育施設の数	47 箇所	54 箇所	
主な取組			総合計画の位置づけ
市の保育士への相談や保護者同士の情報交換、親子が交流できる場を提供するひろば事業を実施する。			施策 6 地域における子育て支援
市立保育所を重点集約化し、各エリアの拠点として地域における子育ての支援体制の充実を図る。			—
認可保育所等の保育施設の整備を行い、待機児童の解消を図る。			施策 10 保育サービスの充実
義務教育修了前の児童について、保険診療の自己負担分を助成する。			施策 8 子育て家庭の経済的負担の軽減

基本目標 4 : 地域とつながる安心な暮らしの確保

■現状と課題

- 近年、多くの自治体で、自治会の加入率の低下や役員等の固定化・高齢化などが問題となっています。また、古くからの住民と、新しい住民との融合も課題となっています。
- 平成 26 年度の市政世論調査では、協働で実施する事業への参加経験には約 63%が参加したことがないと回答し、地域や市が開催する清掃活動への参加経験には約 75%が参加したことがないと回答しており、コミュニティの希薄化が問題となっています。
- 近年、市内の単独世帯（1 人）は増加傾向にあり、世帯全体の 40%を占め、2 人世帯を合わせると 65%に達しています。単独世帯は、20 代の若者だけではなく、中高年男性や高齢者（特に女性）も多くなっています。このため、地域の中で顔見知り、話し合える関係を構築することが重要です。【人口分析結果より】
- 本市では、市民が利用する公共施設や公園・道路などのインフラの老朽化対策として、公共施設マネジメント及びインフラマネジメントの観点から、良好で安全安心な環境を確保するため、計画的な予防保全に努める必要があります。また、近年では民間の空き家が数多く存在し、社会問題となっており、空き家などを有効活用し、コミュニティ活性化につなげることが求められています。

■目標

市民一人ひとりが地域社会と関わりながら安心して暮らせる環境を目指すとともに、公共施設・インフラの計画的な保全や空き家の有効活用など、地域のつながりをもったコミュニティを活性化するための取組をソフト・ハード両面で推進します。

数値目標	現状値	目標値 (H31)	備考
市政世論調査「住みよいと感じている市民の割合」(※)	94.0%	95.0% 以上	

※住みよいと感じている市民の割合：市政世論調査で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」との回答者の合計割合

■講ずべき施策に関する基本方向

(1) みんなが安心して暮らせる地域づくり

①誰もが安心して暮らし続けられる環境整備

②地域交流・活動の促進

(2) 地域コミュニティの活性化を促すストックの有効活用

①公共施設・インフラの計画的な管理及び運営

②空き家などの活用

■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

(1) みんなが安心して暮らせる地域づくり

①誰もが安心して暮らし続けられる環境整備

・全ての市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化するとともに、災害に強い都市基盤づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
地域安全リーダー講習会受講者数	300人	450人	
日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合	62.2%	80.0%	
住宅耐震化率	87.7%	92.0%	
主な取組			総合計画の位置づけ
地域安全リーダーを育成し、地域安全パトロールの支援を行うとともに、地域における防犯体制の強化を支援する。			施策 36 地域安全の推進
地域における防災力の強化をはじめ、自主防災組織などに対する効果的な支援策を実施する。			施策 37 危機管理対策の強化
耐震化に関する情報提供や耐震化の必要性などを広く周知するとともに、市民が積極的に耐震化に取り組めるよう、耐震相談・助言の機会及び助成を行う。			施策 62 震災に対応した建築物の誘導

②地域交流・活動の促進			
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会的な孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくるため、地域活動への参加支援など、高齢者の社会参加や見守り支援を促進します。 ・若い世代が地域づくりに関わる機会が持てるよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めます。さらに、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備を目指します。 			
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (H31)	備考
高齢者単身世帯のサロンへの参加者数	〇〇人	〇〇人	
自治会加入率	60.39%	65.0%	
主な取組			総合計画の位置づけ
ひとり暮らし高齢者等の交流活動を促進するため、各地域に交流の場を提供し、高齢者同士の関係の構築を推進する。			施策 11 高齢者の生きがいつくりの支援
地域住民の交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を活発にするため、「お祭り」といった各種イベントを通して地域に親しみ、住民同士のふれあいの機会を提供する。			施策 58 地域コミュニティの活性化支援
学校と地域が協働して活動を実施するコミュニティスクール事業を実施する。			施策 53 教育・指導内容の充実

(2) 地域コミュニティの活性化を促すストックの有効活用

①公共施設・インフラの計画的な管理及び運営			
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。 ・老朽化が進むインフラ（道路・公園等）を長期にわたり安全に管理していくため、インフラマネジメント計画を策定し、推進します。 			
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	目標値 (H31)	備考
公共施設の市民 1 人当たりの延床面積	2.51m ² /人 (H23)	2.51m ² /人	
公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	70.3%	74	
主な取組			総合計画の位置づけ
第 1 次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、公共施設の最適化を推進する。また、計画的保全については、保全計画を策定し、効果的な予算配分やライフサイクルコストの低減につなげていく。			施策 81 長期的視点に立った公共資産の維持・活用
だれもが安全に安心して公園を利用できるよう、様々な担い手による管理の仕組みを構築し、地域住民などが主体となった維持管理を促進する。			施策 28 緑のまちづくりの推進

②空き家などの活用			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家や空き店舗などは地域活動に活用できる重要なストックであることから、これらを有効活用し、地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
空き家等を活用したコミュニティ活動事例	—	〇〇事例	
内容・目標			総合計画の位置づけ
市内の「空き地・空き家調査」を実施し、必要に応じて管理者指導を行うとともに、活用に向けた体制整備を行う。			施策 30 まちの環境美化の推進